

バリューチェーン 研究開発

日本と現地の二本立ての戦略で 価値ある製品・サービスを開発

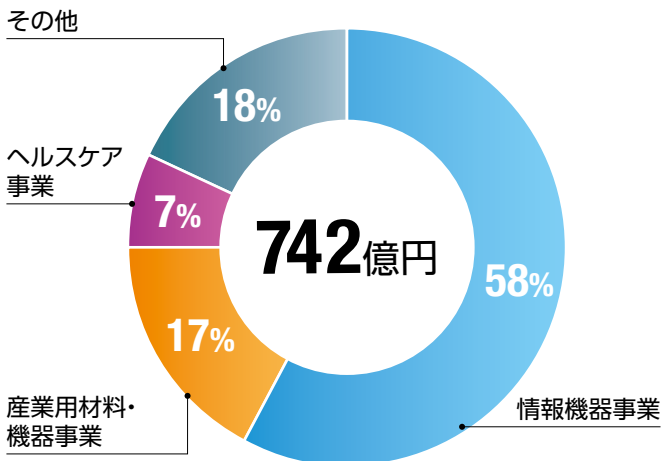
研究開発活動

コニカミノルタは、全社技術戦略の基本方針として、「持続的成長に向けたイノベーションの加速」「顧客価値につながる差別化技術の仕込み」「一流を目指す技術人材、開発組織力の強化」を掲げています。

この方針のもと、研究開発投資の売上高比率を8%以下に抑えつつも、既存事業強化と新規事業育成のための研究開発を積極的に進めています。さらに、技術人材の強化のために、MOT（技術経営）管理職選抜プログラムや研究開発職におけるグローバル人材の獲得などに取り組んでいます。

開発体制については、全世界で共通するプラットフォームとなる技術を日本で開発し、顧客別の対応を要する技術開発を顧客との物理的距離の近い拠点で進めるといふ、二本立ての体制をとっています。こうした体制のもと、各地の顧客ニーズにスピーディーに対応するとともに、グループ全体で大規模な投資判断を行い、共通基盤技術の開発を進めています。また2014年4月には、技術開発の中核拠点として、グループ最大規模の研究開発新棟「コニカミノルタ八王子SKT」を開発。事業部門の枠を越えた研究開発や、社内外のオープンイノベーションを促進しています。

研究開発費の割合（2014年度）



各事業の主な研究開発テーマ

| | |
|------------|---|
| 情報機器事業 | <ul style="list-style-type: none"> クラウド・モバイルと連携するシステム技術の強化 産業用インクジェットプリンター・インクの開発 次世代オフィスシステムの開発 |
| ヘルスケア事業 | <ul style="list-style-type: none"> 体外診断技術の開発(血中タンパク検出、蛍光ナノ粒子標識材) |
| 産業用材料・機器事業 | <ul style="list-style-type: none"> 産業用光学システムの開発 |

知的財産活動

知的財産戦略を会社経営上の重要戦略の一つと位置づけ、事業戦略、技術戦略とともに三位一体で推進しています。

海外売上高比率が70%を超え、世界各地に営業拠点・生産拠点を有するコニカミノルタでは、事業活動を知的財産面から支えるべく、重要な市場や生産国をカバーするワールドワイドな特許出願・権利化を実行しています。日本、米国、中国に設置している知的財産活動拠点において積極的な出願・権利化活動を実施し、各国における特許登録件数・保有件数は順調に増加しています。

また、これら知的財産活動を支援するため、中国では現地の開発者に知的財産の基礎知識に関する教育プログラムを実施するなど、海外の開発者に対する教育・研修を強化しています。

Focused Topic

グリーンプロダクツの開発

コニカミノルタは、お客様や社会での環境負荷低減に貢献することを目的に、優れた環境性能を持つ製品を評価・認定する独自の「グリーンプロダクツ認定制度」を導入しています。事業、製品特性ごとに基準を設定し、その基準をクリアした製品を3段階のレベルで認定。2014年度は新たに33機種の認定製品を創出し、累計では147機種となりました。また、グリーンプロダクツによる売上高は5,471億円※となり、グループ総売上高に占める割合は54%※に上ります。

※ 日本基準